

(別表第4)

## 第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
名称	株式会社 黄桜の里			電話番号	0184-69-2611				
所在地	秋田県由利本荘市東由利老方字畑田28番地			FAX番号	0184-69-2839				
設立年月日	平成7年5月25日			HPアドレス	<a href="http://www.ont.ne.jp/~k-yurari/">http://www.ont.ne.jp/~k-yurari/</a>				
2 資本金	96,000千円	市出資金	90,000千円	市出資割合	93.8 %				
3 事業内容	1. 道の駅「東由利」関連施設の管理運営(東由利温泉保養施設黄桜温泉「湯楽里」(温泉、売店)、東由利産地形成促進施設(レストラン)、ファーストフード店等) 2. 道の駅「東由利」に係る受託業務(駐車場、トイレ、休憩施設等の維持管理) 3. 上記に関連する一切の事業								
4 財務状況(平成30年3月31日現在)									
貸借対照表から	項目	金額(千円) 税抜き			損益計算書から	項目	金額(千円) 税抜き		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	58,950	60,975	55,263		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	231,823	221,622	210,891
	負債	14,315	14,737	14,455		(内市からの補助金・指定管理料)	27,457	27,832	27,986
	(有利子負債)	0	0	0		経常利益	2,539	1,964	△ 5,247
	純資産	44,635	46,238	40,808		当期純利益	2,343	1,604	△ 5,431
	利益剰余金	△ 51,365	△ 49,762	△ 55,193		減価償却前当期利益	3,006	1,731	△ 5,369
5 役職員の状況(平成30年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)		7 (退 0)		正職員数(うち市出向者・退職者)		21 (退 0)			
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(平成30年3月31日現在)									
項目	前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)					
①補助金(助成金)	0	0	0						
②利子補給	0	0	0						
③税の減免額	0	0	0						
④その他	0	0	0						
小計	0	0	0						
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0						
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用	0	0	0						
小計	0	0	0						
合計	0	0	0						
【参考】指定管理料(税込)	29,654	30,059	30,225	道の駅周辺施設					
(2) その他(平成30年3月31日現在)									
項目	前々年度	前年度	本年度						
①損失保証契約に係る債務残高	0	0	0						
②貸付金残高	0	0	0						
③出資金(増資等)	0	0	0						
合計	0	0	0						
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第24期決算報告書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

# 決算報告書

(第24期)

自 平成29年 4月 1日  
至 平成30年 3月31日

株式会社 黄桜の里

由利本荘市東由利老方字畑田28番地

電話 0184-69-2611

# 事業報告書

第24期 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

今期におきましては、前年売上額に対し、約1,036万円の売上減少となってしまいました。人数においては前年より△698人の減少とし、年々利用者の減少が続いている状況です。経費面では人件費を始め、各科目で売上減少分の削減をしましたが、水道光熱費の増加により経費の掛かりましになり、収支のバランスがくずれてしまった年でもありました。特に灯油と電気料の増加分は、利益では賄いきれない状況となっておりますが、今期の課題として多少なりとも、削減策を取り対応していきたいと考えております。

◎ 経営状況におきまして、売上予算対比 88.6%、前年対比では94.5% 約1,036万円の売上減少となってしまいました。4月からのボイラー工事や、配管破れ、館内リニューアル等の工事もあり、1年中工事があったような年であり、人口減少の影響か年間を通して帰省客の減少など、今までの多忙期が特に影響を受けた年であり、客足も鈍く客単価も宴会では△25円と低下してしまった状況あります。

今期からは、什器備品関係の買換えも進み、このようにまとまった工事はしばらくないと思われ今後は利益追求に専念できると思えます。

◎ 当期純利益におきましては、昨年と比較し売上が減少した分、人件費や各科目での削減をして来ておりますが、水道光熱費の大幅な経費増加 約4,117千円をどこにも還元できず増加分がそのまま赤字となり**当期純損失 5,430,873円**となってしまいました。

◎ 各セクション状況に対しましては、

フロントの売上につきましては、予算対比88.5% 前年対比93.6%となっております。4月からの工事関係で、入浴利用の停止などもあり、売上減少にはかなりの影響が出てしまった感じがあります。6月と3月には前年対比100%以上の月もありますが、今後リニューアルをアピールし、道の駅の日の企画関係でも入浴客の掘り起しなど、入浴客の増加に努め、売上増加に繋げていきたいと考えております。

レストランでは、売上予算対比 87.5%と、前年対比であと一步の 97.8%でありました。年間を通して、ロングランの企画や、東北道の駅連絡会の企画でのコラボなど東北6県での企画も行っておりましたが、前半は昨年並みでしたが、後半の伸びがなく、売上も今一つとなってしまいました。今後道の駅バトルを始め、今期もじゃらん東北などとのコラボ企画で売上増加を目指していきたいと思っております。

宴会におきましては、売上予算対比 88.6% 前年対比では 90.2%と約△784万円となりセクションの中でも一番大きく売上額を落として来ております。特に工事のあった3月には、前年対比 57.8% と大きく落とし宴会が取れない状況もありましたが、リニューアルに合わせ、昼換えの関係もあり、宴会場での禁煙の実施を行うなど改革も行っております。

FFにおきましては、売上予算対比86.5% 前年対比94.9%と達成まであと120万円と言う所まで来ておりました。

5月、9月、11月では、前年対比100%以上とし、イベントの多い年でもあり、イベントのある月は売上が増加するという傾向がファーストフードにはありました。特に種苗交換会においては、集客率が上がり売上増加に繋がり、前年対比114%としております。

売店におきましては、売上予算対比94.2% 前年対比105.9%と、約103万円の売上増加とし前年対比では、前半110.6% 後半100%と安定をした売上確保をして来ております。特に法要の多かった月では、引菓子関係の売上増加があり、今後売上確保にはなくてはならない、商品となる為に飽きのこない商品提供を行わなければならないと考えて、見直しも行う予定です。

売上目標につきましては、目標予算額 20,000万円に対し88.6% 前年対比では94.5%とし、2億の壁を何とか切り崩したいと努力いたしましたが、結果的には売上に還元できない経費の増加で利益を食われてしまった形でありました。

昨年並みの水道光熱費であれば、トントンまでは行っていたのが残念であります。

25期の目標額につきましては、195,800,000円とし、前年実績額に対し110.5% (約1,861万円)とし、**当期利益は300万円**を目標としております。

リニューアルや、什器備品の買換えなどを行っていただいておりますので、今後もっと効率を上げ黒字化に向け努力して行きたいと考えております。

第1号議案

第24期(平成29年 4月1日～平成30年 3月31日まで)

① 貸借対照表、損益計算書 承認の件

貸借対照表

(平成30年 3月31日現在)

第 24 期

損益計算書

(平成29年 4月1日～平成30年 3月31日まで)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
A 流動資産	44,612,933	流動負債①	14,455,320
現金・預金	35,101,740	買掛金	3,891,035
売掛金	909,115	未払法人税等	184,000
たな卸資産	8,413,416	未払費用	9,042,285
その他流動資産	188,662	前受金	0
B 固定資産	10,649,757	預り金	124,400
有形固定資産	215,187	未払消費税	1,187,300
建物	56,543	金  券	26,300
車輛・運搬具	3	固定負債②	0
工具・器具・備品	4,499	D 負債合計①+②	14,455,320
建物付属設備	154,142	資本金③	96,000,000
一括償却資産	0	資本剰余金④	0
無形固定資産	76,440	利益剰余金⑤	-55,192,630
投資等	10,358,130	繰越利益剰余金	-55,192,630
出資金	105,000		
保険積立金	10,253,130	E 純資産合計③～⑤	40,807,370
保証金	0		
長期前払費用	0		
C 繰延資産	0		
A+B+C 資産合計	55,262,690	D+E 負債及び純資産合計	55,262,690

(単位:円)税別

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
売上高	177,187,455	売上原価	69,425,090
經常損益	177,187,455	計②	69,425,090
の部	①-②	A 売上総利益	107,762,365
		販売費及び一般管理費	146,639,179
		計③	146,639,179
	A-③	B 営業利益(損失)	-38,876,814
営業外収益	33,702,863	営業外費用	73,140
(委託料収入30,096,568)		計⑤	73,140
計④	33,702,863	C 経常利益(損失)	-5,247,091
	B+④-⑤	特別損失	0
特別利益	1,124	計⑦	0
損益	1,124	D 税引前当期純利益(損失)	-5,245,967
の部	C+⑥-⑦	E 法人税及び住民税	184,906
		F 当期純利益(損失)	-5,430,873

(単位:円)税別

事業報告は、本株主総会において修正のない限り、これを直ちに事業報告とし、あらためてお送り致しませんので、ご了承ください。お願 い ますようお願い致します。

## 事業計画案承認の件

### 第25期事業計画案

◀ 黒字化の復活の為、売上予算達成に努め、合わせて更なる経費削減で利益確保に努める ▶

事業	内 容
目 標	1、 社員減少に伴い、人材の補充と接客対応のレベルアップを図って行く。 2、 人口減少による、集客数の低下対策の強化。 (特に宴会関係の商圏拡大に努め、広く営業活動を展開していく) 3、 売上増加はもとより、固定経費の見直しによる経費削減に取り組み、収益バランスに努め黒字化を目指す。
営 業 面	1、 フロント ① 毎月の「道の駅の日」の活用で、入浴客の掘り起しの強化と、季節による温泉企画の充実を図り、広く利用者を取り組みを図って行く。 2、 売 店 ① オリジナル商品の開発はもとより、売上増加に貢献している、宴会・法要関係の引菓子についても、更なる見直しをして販売強化に努める。 3、 食事処「やしお」 ① 今期についても、他社との「コラボ企画」による、メニュー開発と広い商圏へのPR活動により、集客率の増加と販売強化に努め、売上増加を目指す。 (道の駅バトル・毎月の漁師めしフェア・まるっと鳥海わくわくキャンペーン・秋田由利牛取扱い店キャンペーン・じゃらん東北とのコラボ企画・羽後交通さんとのコラボ企画等) ② 由利本荘市産の食材利用によるメニュー開発や、新たな中華料理のメニュー提供 4、 宴 会 ① 法要関係の要望の変化に合わせ、料理内容の見直し、パンフレットの見直し等を行う ② 宴会形式においても、洋テーブルでの利用希望が多くなり、設備の補充と対応強化に努め売上増加を目指す。 5、 ファーストフード ① ショートラン・ロングランのファーストフード・オリジナル企画の展開と充実を図る。 ④⑤ ローソン関係を意識した、販売戦略の練り直しと、「黄桜すい」のキーワードを利用した差別化をした商品作りの強化で、更なる売上増加に繋げたい。
経 営 面	1、 ◎ 売上増加が年々厳しくなっている中で、黒字化を目指し今期予算 ¥195,800,000 円の達成と、これに見合う更なる経費と削減の見直しや、業者の見直しで利益の確保を行なう。 ◎ 第25期の当期純利益の目標を、黒字額の 3,000,000円を目標とし、収支バランスを図り効率化で再度黒字化を目指す。
施設、その他	1、 道の駅として、新たな役割の中で避難場所としての役割の他、EVの設置場所としての役割にも務め、利用者ニーズに努める。 2、 浴場関係や、宴会場関係の改修工事が終わり、これに合わせ禁煙対策や、細かい補修を行い保全に努める。

## 第25期 売上予算と前年売上実績対比

平成30年4月～平成31年3月

セクション		金 額		人 数
フロント	予 算 額	21,100,000	予 算	56,250
	前 年 実 績	18,853,083	前 年 実 績	48,423
	前年実績対比	111.9%	前年実績対比	116.2%
	前年予算対比	88.5%	前年予算対比	84.0%
宴 会	予 算 額	82,220,000	予 算	17,950
	前 年 実 績	72,375,622	前 年 実 績	15,907
	前年実績対比	113.6%	前年実績対比	112.8%
	前年予算対比	87.5%	前年予算対比	89.6%
レストラン	予 算 額	47,600,000	予 算	37,100
	前 年 実 績	44,779,023	前 年 実 績	34,896
	前年実績対比	106.3%	前年実績対比	106.3%
	前年予算対比	87.5%	前年予算対比	89.2%
売店A	予 算 額	19,800,000	予 算	11,750
	前 年 実 績	18,473,881	前 年 実 績	10,935
	前年実績対比	107.2%	前年実績対比	107.5%
	前年予算対比	94.2%	前年予算対比	90.4%
FF	予 算 額	24,530,000	予 算	49,750
	前 年 実 績	22,206,857	前 年 実 績	45,348
	前年実績対比	110.5%	前年実績対比	109.7%
	前年予算対比	86.5%	前年予算対比	90.3%
その他	予 算 額	700,000		
	前 年 実 績	647,046		
	前年実績対比	108.2%		
	前年予算対比	85.4%		
売上値引き	予 算 額	-150,000		
	前 年	-148,057		
合 計	予 算 額	195,800,000	予 算	172,800
	前 年 実 績	177,187,455	前 年 実 績	155,509
	前年実績対比	110.5%	前年実績対比	111.1%
	前年予算対比	88.6%	前年予算対比	88.0%